

日本計量生物学会

The Biometric Society of Japan

日本計量生物学会とは

日本計量生物学会 (The Biometric Society of Japan) は、生物現象を扱う統計学、数理解析学の最先端の情報を交換し、その発展を促進することを目的として組織された学会です。学会のカバーする領域は、環境科学・生物学・医学・薬学・農林水産学・生態学など多岐にわたっています。また、国際計量生物学会 (International Biometric Society) の日本支部としての機能も有しています。

学会の活動

● 「計量生物学 (The Japanese Journal of Biometrics)」の発行

「計量生物学」は計量生物学全般にわたる研究論文を主体とした学術専門誌で、年2回程度発行し、必要に応じて特別号も発行しています。

● 年次大会の開催

会員の研究発表ならびに相互交流の場としての年次大会を年1回開催しています。2002年度から日本統計学会、応用統計学会等と共同で連合大会の形式を取り、2008年度からは応用統計学会と共催として開催しています。

● シンポジウムの開催

計量生物学の種々の研究領域からテーマを選んで、2008年度から統計関連学会連合大会にシンポジウムとして参加しています。

● チュートリアルセミナーの開催

年次大会およびシンポジウムの時期に合わせて、計量生物学の研究や実践の基礎を分かりやすく解説したチュートリアルセミナーを開催しています。

● ニュースレターの発行

学会からのお知らせや会員相互の交流を図るためのニュースレターを年3回発行しています。(原則としてWEBからのダウンロード)

● 学会賞の授与

2004年度から学会賞として日本計量生物学会賞、奨励賞、功労賞を授与し、計量生物学への貢献を顕彰しています。

● その他の活動

会員相互の交流や各種連絡のためのメーリングリストが稼働しています。また、随時、研究会、セミナー、講習会なども開催、協賛、後援しています。

国際交流

日本計量生物学会の「国際正会員」は国際計量生物学会の会員となり、学術誌 Biometrics (原則としてWEBからのダウンロード) および Biometric Bulletin の配布を受けるとともに、国際会議への参加ができます。

試験統計家認定制度

試験統計家 (trial statistician) とは、主に研究者主導で行なわれる臨床試験のデザイン・統計解析・発表そして質保証に責任を有する、教育と経験を有した統計専門家のことです。日本計量生物学会は、試験統計家の認定制度を2017年4月に開始しました。

「計量生物学」の最近の掲載論文

<Vol. 38> No. 2 (2018)

原著: A Re-examination of Japanese Sample Size Calculation for Multi-regional Clinical Trial Evaluating Survival Endpoint

総説: 定量的ハイスループットスクリーニングによる化学物質の生物学的活性評価のための統計学的手法

特集: 医学・農学研究におけるP値— $p < 0.05$ を超えて—

<Vol. 38> No. 1 (2017)

原著: Bayesian Indexes of Superiority and Equivalence and the p -value of the F -test for the Variances of Normal Distributions

総説: 階層構造化された試験目的を伴う臨床試験での多重比較法—ゲートキーピング法とグラフィカルアプローチ



年次大会・チュートリアルセミナー

2018年度(統計数理研究所)

- ・特別セッション：統計コンサルテーション
- ・特別講演：2017年度日本計量生物学会賞受賞者講演
- ・チュートリアルセミナー：適応的デザインとその応用

2017年度(中央大学)

- ・特別セッション：疫学における生物統計学との協働
- ・チュートリアルセミナー：観察研究における因果推論

2016年度(統計数理研究所)

- ・特別セッション：医薬品開発にともなう統計的方法論の進展
- ・特別企画：試験統計家認定に向けて
- ・チュートリアルセミナー：統計モデリング入門：一般化線形モデルから階層ベイズモデルへ

シンポジウム

2018年度(中央大学)

- ・計量生物学の将来展望：数理・データ科学研究者との交流から見えるもの
- ・日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

2017年度(南山大学)

- ・医学・農学研究における p 値 $\sim p < 0.05$ を超えて ～
- ・日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

2016年度(金沢大学)

- ・臨床試験における質管理・質保証のための統計的モニタリング
- ・日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

国際計量生物学会議

XXIXth International Biometric Conference

IBC2018 2018年7月8日～13日(バルセロナ国際会議場)

役員の構成(2018年度)

会長	大橋靖雄(中央大学)
代表理事	大橋靖雄(中央大学)、松井茂之(名古屋大学)
庶務	松井茂之(名古屋大学)、寒水孝司(東京理科大学)
会計	高橋邦彦(名古屋大学)、和泉志津恵(滋賀大学)
編集	服部聡(大阪大学)、三中信宏(農業環境技術研究所)
会報	船渡川伊久子(統計数理研究所)、 松井茂之(名古屋大学)
広報	三中信宏(農業環境技術研究所)、 田栗正隆(横浜市立大学)
企画	菅波秀規(興和(株))、大森崇(神戸大学)、 田栗正隆(横浜市立大学)、 船渡川伊久子(統計数理研究所)
組織	松山裕(東京大学)
国際 学会賞	佐藤俊哉(京都大学)、服部聡(大阪大学)
試験統計家認定	佐藤俊哉(京都大学)、松山裕(東京大学)
監事	手良向聡(京都府立医科大学)、 安藤友紀((独)医薬品医療機器総合機構)、 菅波秀規(興和(株))
	柳川堯(久留米大学)、 柴田大朗(国立がん研究センター)

学会費

本学会には5種類の会員があります。

- 国内正会員：年会費 6,000 円
- 国際正会員：年会費 6,000 円 + 60 ドル
Biometrics、JABES はオンラインでの閲覧となります。※
Biometrics の紙媒体希望：6,000 円 + 70 ドル
※JABES の紙媒体希望：6,000 円 + 70 ドル
(国際会費は、年度ごとに換算レートに合わせて見直し、理事会において決定しています。入会時に金額をご確認ください。)
- 学生会員：無料(正規雇用の職に就いている方は除きます)
Biometrics、JABES はオンラインでの閲覧となります。
- 賛助会員：会費は一口 10,000 円で三口以上
- 名誉会員：本学会の発展に多大な貢献をされた方
(※会則に基づき決定)

上記すべての会員は、学術誌「計量生物学」(電子ジャーナル)とニュースレター(WEBからダウンロード)が入手できます。

※ご希望により郵送対応も可能です。

また、国際学会に旅費援助を行うため、一口 2,000 円の特別会費をお願いしています(有志のみ)。

会員数(2018年9月現在)

- ・国内正会員：358名
- ・国際正会員：293名
- ・学生会員：45名
- ・賛助会員：9社
- ・名誉会員：8名



入会の方法

学会事務局に「入会希望」と連絡してください。

連絡先：〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5F

公益財団法人 統計情報研究開発センター内

一般社団法人 日本計量生物学会事務局

FAX：03-3234-7472

E-mail: biometrics@sinfonica.or.jp

折り返し事務局から入会申込書をお送りします。

※国際会員・学生会員の方は国際本部入会手続きを行いますので、入会申込書が事務局に届き次第、折り返し、事務局から国際本部用入会申込書をお送りいたします。こちららもご記入の後に事務局までお送りください。入会申込書は学会 WEB ページ内からもダウンロードできます。

日本計量生物学会
The Biometric Society of Japan

<http://www.biometrics.gr.jp/>